

凍てついた心を癒せるのは
傷ついた心だけ…。

誰にも言えない過去を抱えて、
彼女はここにやって来た



この森で、

AUDIENCE
AWARD WINNER
1996 SUNDANCE FILM FESTIVAL

1996年サンダンス映画祭観客賞受賞

天使はバスを降りた

主演■アリソン・エリオット —— 彼女はこの映画に奇跡をもたらした。(N.Y.タイムズ)

「キルトに綴る愛」エレン・バーステイン 「ミラーズ・クロッシング」 マルシア・ゲイ・ハーデン

キャスト: ロック・エンターテインメント提供/グレイ・プロダクション/メンドー・コーポレーション共同製作/監督・脚本・リサーチ・デビット・スロート/音楽・ジェームズ・ホーナー/プロダクション・デザイン・ハワード・カミングス

撮影・ロブ・トレイバー・A.C.S./製作総指揮・ウォレン・G・スタット/製作・フォレスト・マーレー/東宝東和提供

© 1996 CASTLE ROCK ENTERTAINMENT. ALL RIGHTS RESERVED.

THE
SPITFIRE
GRILL

★★★★★!

魂さえも揺さぶる美しい一遍の詩のようだ。

〈N.Y.タイムズ〉

ある冬の夜、
彼女は小さな町のバス停に降り立った。

熱狂的なスタンディング・オベーションが5分間続く、96年サンダンス映画祭——観客は頬をつたう涙を隠そうともしなかった。そして、その映画「この森で、天使はバスを降りた」は観客賞を受賞した。

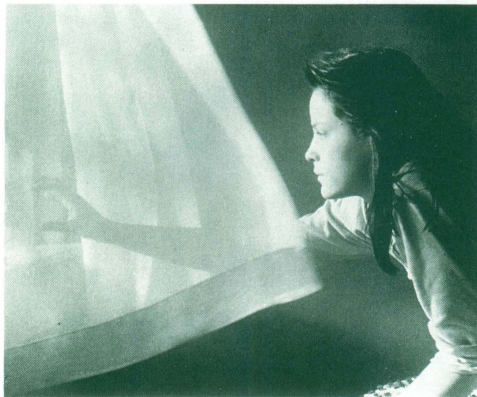
主人公パーシーは、深い森に囲まれた田舎町ギリアドにやって来た。誰にも言えない過去を抱えて…。やがて、彼女は凍てついたその町で、それぞれに悩みを抱えて生きる人々に会い、心通わせていく——。一人息子を戦争で失い、心閉ざしてしまっただけの主婦シェルビー。そんな人々をパーシーは誰よりも温かく包み込んでゆく…。しかし、やがてその笑顔の向こうに隠された悲しい彼女の過去もまた明らかになっていく。家族に恵まれずに育った孤独な少女時代。そして、思いもかけず、自分の中に芽生えた小さな命。しかし、突然の継父による暴力が彼女からその命を永遠に奪ってしまったのだ。自分の子供を守ることができなかった。心の傷だけが彼女に残された…。

誰よりも深く傷ついたからこそ、人の心の痛みがわかる。冬から春へと姿を変えていく森のように、パーシーの純粋な優しさと誠実さは、凍てついた人々の心を溶かし、それぞれの心の傷を癒していく…。

主人公パーシーを演じるのは注目の新人アリソン・エリオット。美しい自然に溶け込むような彼女のビュアな魅力なしでは、この映画の成功はなかったと、マスコミも大絶賛。また、アカデミー賞女優エレン・バースティンと、「ミラーズ・クロッシング」のマルシア・ゲイ・ハーデンがしっかりと脇を固める。

心の琴線に触れる感動のストーリーと、奇跡のように美しい映像…監督／脚本を手掛けたリー・デビッド・スロートフは、これが映画デビュー作とは思えない、熟練した力量を発揮している。

パーシーの深い愛に感動し、希望に満ちたエンディングにふれた時、映画を見る私たちの心もまた癒されていることに気付くだろう…。



サンダンスの会場は
観客の拍手と涙で優しく包まれた。

〈ハリウッド・レポーター〉

主演のアリソン・エリオットは
この映画に奇跡をもたらした。

〈ロサンゼルス・タイムズ〉

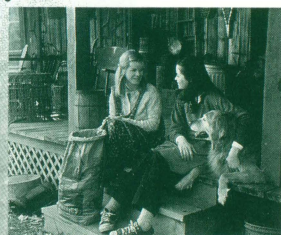


この森で、
天使はバスを降りた

この映画から生まれた一人の天使…
アリソン・エリオット

スロートフ監督はこの映画の重要な鍵を握るパーシー役として、従来の若手女優には無い不思議な魅力を持つ女優を探していた。そこに現れたのが、アリソン・エリオットだった。アリソンを一目見た瞬間、監督はこの映画の成功を確信したという。彼女の様々に変化する表情と、ビュアな透明感と純粋さが、見事にパーシーに重なっていく。そして彼女のその悲しげな笑顔が、パーシーの悲しい過去を一層際立たせていく…。

スティーン・ソダーバーグ監督はアリソンの魅力を「ローレン・バコールの再来」と評した。マスコミもこぞってパーシー役を絶賛、今最もハリウッドで注目されている女優である。



新しい才能を発掘する
インディペンデント・フィルムの祭典
サンダンス映画祭観客賞

クエンティン・タランティーノを始め多くの若い映画人を輩出しているのが、ロバート・レッドフォードが81年に創設した〈サンダンス・インスティテュート〉。さらに新しい才能のショーケースとして85年に始められたのが、〈サンダンス映画祭〉である。その中でも、常に新鮮な才能を渴望する世界中の映画人から熱い注目を集めているのが、観客自らが票を投じる〈観客賞〉である。後にカンヌ映画祭グランプリを獲得した「セックスと嘘とビデオテープ」(89年受賞)、「エル・マリATCH」(93)、「フープ・ドリームス」(94)に続き、96年同賞に輝いたのが「この森で、天使はバスを降りた」。既成概念を嫌うレッドフォードだが、〈サンダンスらしい映画〉の特徴として唯一挙げているのが〈ヒューマニスティック・シネマ〉。5分以上も続いたスタンディング・オベーションとともに会場を熱い涙と拍手で満たした本作品はまさに、サンダンスらしい作品と言えるだろう。



1996年／アメリカ映画／グレゴリー・プロダクション&メントシー・コーポレーション共同製作／キャスルロック・エンターテインメント作品／東宝東和提供

© 1996 CASTLEROCK ENTERTAINMENT. ALL RIGHTS RESERVED.

1・15(祝)より《優しさ》のロードショー!
“ピロー・サシェ”付(枕に入れてお休み下さい。ハーブの香りが心を癒します)。
前売券絶賛発売中／(一般1,500円／ペア2,800円)

日比谷・東宝映画街
シヤンテシネ
TOHO Theatre Link <http://toho-group.co.jp/>
03 (3591) 1511